

暫定版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

決算審査特別委員会都市建設分科会記録

日	令和 7 年 9 月 26 日（金）（第 3 回定例会）			
時	午後 4 時 42 分 開議（ 休 憩 な し ） 午後 4 時 44 分 散会			
場 所	第 5 委員会室			
出席委員	段 木 和 彦	岳 田 雄 亮	大 平 真 弘	守 屋 聡
	伊 藤 康 平	亀 井 琢 磨	川 合 隆 史	佐々木 友 樹
	小松崎 文 嘉	向 後 保 雄		
欠席委員	な し			
担当書記	岡 田 昌 樹			
説 明 員				
協議案件	指摘要望事項の検討			
そ の 他				
主 査 段 木 和 彦				

午後 4 時42分開議

○主査（段木和彦君） ただいまから、決算審査特別委員会都市建設分科会を開きます。

本日の審査日程につきましては、指摘要望事項の検討でございます。

傍聴の皆様申し上げます。分科会傍聴に当たっては、傍聴証に記載の注意事項を遵守いただきますようお願いいたします。

指摘要望事項の検討

○主査（段木和彦君） 委員の皆様には、これから決算審査特別委員会都市建設分科会としての指摘要望事項の検討をお願いいたします。

まず、正副主査案を副主査より発表いたします。岳田副主査。

○副主査（岳田雄亮君） まず、都市局です。地域公共交通については、本市においてもバス運転手の慢性的な不足による減便や路線廃止が喫緊の課題となっていることから、運転手の確保、養成に関する支援策のさらなる拡充を検討されたい。

また、バス路線の維持に向けて、引き続きモビリティマネジメントによる市民意識の変容を図るとともに、事業者とも連携しバス利用の促進に努められたい。

次に、建設局です。（仮称）検見川・真砂スマートインターチェンジの整備については、東京方面へのアクセス強化のみならず、生活道路の交通の整流化などにより市民生活の利便性向上が期待できることから、着実な整備に向けて取り組まれたい。

また、説明会などを通じて周辺住民に対し丁寧な情報発信を行うほか、当該インターチェンジの整備により見込まれる交通負荷に対して的確な対策を検討されたい。

○主査（段木和彦君） 正副主査案につきましては以上でございますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○主査（段木和彦君） ありがとうございます。

指摘要望事項については、以上のとおり決定いたします。

なお、分科会報告の作成等につきましては、正副主査に御一任願います。

以上で、決算審査特別委員会都市建設分科会を終了いたします。

長期間、慎重審査ありがとうございました。

午後 4 時44分散会